大栃小学校
学校だより
物部っ子

教育目標　小中一貫目標
「郷土を愛し、
主体的でたくましく行動する
児童・生徒の育成」

大栃小学校便り　第５号
令和４年８月２９日
発行・文責：学校長

みんなが「つながりあえる」２学期に!!



さあ、２学期！



いよいよ今日から県内の他の市町村にさきがけて、２学期が始まりました。始業式で元気な子供たちの様子を見て、うれしく感じると同時にこの２学期にさらに大きく成長していってくれると確信しました。

さて、２学期は、運動会に始まり、中学校体験学習、合同音楽会に物部っ子フェス…などなどたくさんの行事が目白押しです。

学校では、１学期を「認め合う学期」、２学期を「つながりあえる学期」、そして３学期を「高めあう学期」として考えています。２学期のたくさんの行事に取り組む中で、学級の子どもたちが、また学校全体の子どもたち、教職員も含めた全体がより「つながりあえる学期」にしてほしいと思っていますし、そうなっていくと信じています。

さあ２学期！物部っ子の頑張りに期待です！

家族のきずな作文コンクール表彰

香美モラロジー事務所主催の「家族のきずな作文コンクール」に応募した結果、２人が入賞し、８月22日（月）香美市中央公民館で表彰されました。会場では、堂々とした姿で自身の作文を朗読し、記念写真も撮りました。

【小学校の部】　＜香美市教育長賞＞　２年　伊藤楓花（いとうふうか）さんの作品

『やさしいお姉ちゃん』

私はお姉ちゃんが大すきです。大すきなので、本とうは、ずっとおねえちゃんにひっついていたいです。でも、おねえちゃんはいつもひっつくとおこるので、ときどきひっつくようにがまんしています。

いつもおねえちゃんは、わたしにプレゼントをくれたり、しゅくだいを見てくれたり、たくさんおせわをしてくれます。

わたしは二ねん生になって、一ねん生のおせわをするようになりました。一ねん生のおせわは思ったよりちょっと大へんです。

わたしはいつもおせわをしてくれるおねえちゃんに、おれいをしたいです。おねえちゃんがわらってくれるように、にこにこえがおをプレゼントしたいです。



【小学校の部】　＜入選＞　１年　篠崎（しのざき）　捺（なつ）さんの作品

『とうたん』

ぼくは、おとうさんのことを「とうたん」とよびます。

とうたんは、ぼくがうそをついたときやわるいことをしたとき、ぼくをおこります。とうたんは、たまにおこるとこわいけど、いつもはやさしいです。

とうたんは、ぼくといっしょにそとで、なわとびのにじゅうとびをしてくれます。ぼくとてれびげーむをしてくれます。いっしょにがっこうにいってくれます。

ぼくは、ぼくがだめなときにおこってくれるとうたんも、やさしいとうたんも、あそんでくれるとうたんもだいすきです。



朗読コンクールに参加しました！

高知県立文学館第 25 回児童生徒文学作品朗読コンクール（東部地区会場）が８月 23 日（火）田野町ふれあいセンターで行われました。このコンクールは、「朗読を通して文学に親しむ子どもたちを育てたい」との願いから、毎年開催され、今年で 25 回目を迎えています。

今年も、夏休み中に県内三会場（東部・高知・西部）で開催され、本校からは東部地区会場に４年生の真島希依さんと１年生の篠崎捺さんが参加しました。

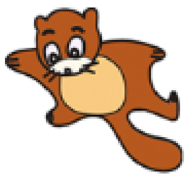
捺さんは「おおきなかぶ」を、希依さんは「さるとかにのもちあらそい」を場面の状況や登場人物の心情などを豊かに表現しながら、朗読しました。夏休み中にも熱心に練習を行った成果が披露できたようです。

特認校にむけて！

７月 15 日（金）に「香美市公立学校特認校制度検討委員会」において、令和５年度から大栃小・中学校が特認校となることが承認されました。

「特認校」とは、「小中学校の通学区域の弾力的運用の一つとして、児童・生徒数の少ない小中学校で通学区域の制限を外し、入学（転学）を認めた学校」をさします。したがって来年度より香美市内の児童・生徒で大栃小・中学校に入学したい、転入してきたいという児童・生徒は入学、転入が可能となります。

来年度からの実施に向け、９月には香美市内の世帯に配布するリーフレットを作成したり、PV（プロモーションビデオ）の制作も考えています。そして、11 月６日（日）には、希望者に向けた「オープンスクール」も開催します。



感染拡大防止について！

８月中旬より、国内はもとより、県内でも 2,000 人をうわまわるなど、感染者拡大が続いています。今一度、感染症対策を徹底して教育活動を行っていきます。ご家庭の方でもご協力よろしくお願いいたします。